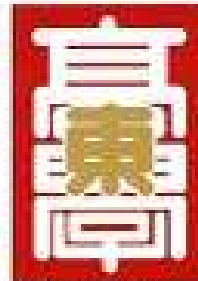


旭川東高だより



シマレ
ガンバレ

No.141

http://www.ab.hokkaido-c.ed.jp/

PTA事務局 〒070-0036 旭川市5条通11丁目左 ☎23-2855

目 次

1頁 学校祭・前期生徒会紹介

2頁 宿泊研修・定時制だより

3頁 旭東アカデミア・全国大会

4頁 入試状況

5頁 部活動報告

6頁 学校祭・合唱コンクール



「トイ・ストーリー」(1年4組)



「Keweenaw」(2年2組)



「ミッション・ポッパブル」(2年3組)



「中国」(3年2組)

最後に保護者の皆様、日頃から執行部及び東高生の活動へのご理解とご協力、本当にありがとうございます。この場を借りてお礼を申し上げます。これからも僕たちは支えてくれている方々に対して感謝の気持ちを忘れずに活動していきます。

僕たちは前年生委員会執行部は現在、1年生13人、2年生15人、3年生13人の計41人で集り、明るく、元気ハツリのある活動をしていきます。執行部のメンバーを一言で表すなら「十人十色」「一人一人の個性を大切にし、一つのチームとしてまとまった大きな力を発揮できることを大切にしています。執行部の活動は日安宿を設けし東高生の要望を聞きながら、よりよい学校生活を送ることができるよう日々活動を行ったり、また前期は合唱コンクール、学校祭、康枝大会と立て続けにやってくる行事の運営を担当しています。今回は東高の一つの特徴でもある学校行事に関して焦点を当ててみたいと思います。

東高には他の高校と比べ多くの学校行事があります。そんな数多い行事の運営を担当させていたいただいているのですが、僕たちは行事の運営を行うときは前年度の資料や反省点を活用しながら「みんなの思い出に残るような行事にするため」作業を進めていきます。しかしどの行事も長年行われていたためどうしても前年度の踏襲という形になってしまいがちです。そんななかで僕たちが大事にしていることは「伝統の中にも新しさを」ということです。行事の運営は執行部だけが行うものではありません。東高一丸となつて行うものです。クラス、学年、学校全体の雰囲気というものも毎年変化していきます。その年の東高生しかできないこと、その年の東高生だからできること、これらをつましく引き出せたときに行事は一体感のあるとても素晴らしいものになると僕たちは考えています。そんな個性あふれる東高生を附らし続けることの出来るような存在をこれから目指していきたいと思っています。



生徒会長

3年3組 松本 夏月

個性

宿泊研修



長縄とび成功！



1年4組
薄田 怜央菜

新たな一歩

4月26日(火)～28日(木)に入学後初めての大きな行事「宿泊研修」が国立大雪青少年交流の家で実施されました。楽しみと同時に知り合っ
てからまだ日が浅い仲間と三日過ごすことの不安もありました。

最初の研修は「ハイキング」でしたが、雨天により大雪交流の家職員による「コミュニケーショントレーニング」に変更になりました。様々な人と交流でき、仲間作りのきっかけになりました。



進路に対する活発な質問

進路についての研修では、自己の将来設計は、自分のしたいことを考えることから始まることを実感しました。

理想の学習観・学習方法を考える時間もありませんでした。学習について友達と話し合う中で、自分の学習を見直す機会になりました。

「大縄とび大会」もありました。クラスがまとまることで本番では練習以上の回数を跳ぶことができ、大いに盛り上がりました。

その他にも、食事の時間や奉仕活動など、共同生活を送ることで、友だちとの距離がグッと近づいたと思います。

この三日間の経験をこれからの学校生活を中心に様々なことに生かしていきたいです。

定時制だより

今年度も気がつくと思夏休みまで来ました。1年生は高校に入学し環境が大きく変わったと思います。落ち着いてきましたか？2・3年生はそれぞれ学年が上がって高校生活にすっかり慣れ、少しずつ大人になつてきましたか？4年生は目の前にじわりじわりと進路活動が近づいてきてそろそろ「まづい！」と感じていますか？

このまでの4か月の間に授業・考査行事・定休連と刻一刻とは過ぎていききました。若い皆さんは、高校時代がまだ長く続くように感じているでしょう。でもきつと4年生の多くがこの夏休み明けに気づくことは、もう高校生活は残り僅かだと言う現実です。高校生活は思い返すと夢や幻のようにあつと言う間に過ぎ去ります。振り返って何も成長していないとはならないでほしいと心から願っています。

環境や条件は人によって様々です。自分ができないことをそれらのせいにして逃げることは簡単です。でも信頼され仕事を任される大人になるにはまずは逃げずに前に進み続けることが大切です。今後の将来をより良い方向へ導くためにもまずは嫌なことから逃げずに前進し続けてください。続けることで見える世界が沢山あります。

夏休みは、仕事をしている人にとつては暑く辛いものかもしれません。まだ予定のない人は短期間でも何かアルバイトを探してチャレンジしてみましよう。ほんの小さなことで構わないので、変化をして成長を遂げる夏休みにしてください。8月19日全員揃って元気に登校してきてください。

【定体連結果】
バドミントン 上川支部大会

(6月4日旭川商業高校体育館)



定体連地区大会
(バドミントン部)

旭	嶋加内	士別東	稚内	旭	嶋加内	士別東	準々決勝	準決勝	決勝
0	2	2	2	0	2	2	2	2	0
2	0	0	1	0	2	0	2	0	2
1回戦	1回戦	1回戦	2回戦	1回戦	1回戦	1回戦	2回戦	準決勝	決勝
細川伸吾	松井久	新谷胤							

旭 東	幌 加 内	旭 商	旭 東	旭 商	士 別 東	幌 加 内	幌 加 内
2 1	2 0	2 1	0 2	2 0	2 0	2 0	0 2
決勝	決勝	2回戦	決勝	決勝	2回戦	1回戦	1回戦
準	準	2回戦	準	準	2回戦	1回戦	1回戦
佐 藤	碧					中 島 真 夢	石 田 花 南
							女子シングルス

バドミントン全道大会
女子団体
 1回戦 旭川東 2-1 東藻琴
 準決勝 旭川東 0-3 二七〇
 (6月18) 19日小樽潮陵

男子シングルス	函館中部
細川伸吾	クラーク
1回戦	2-1
2回戦	0-2
女子シングルス	留寿都
中島真夢	釧路工業
1回戦	不戦勝
2回戦	1-2
佐藤 碧	星 槌
1回戦	2-0
2回戦	2-0
3回戦	0-2
	飛鳥未来

女子シングルス	中島真夢	佐藤 碧	
1回戦	2回戦	1回戦	2回戦
不戦勝	1-2	2-0	2-0
留寿都	釧路工業	星 槎	北見北斗
			飛鳥未来

旭東アカデメイア

探究型課外活動

『旭東アカデメイア』の取り組み



進路指導部 教諭

千葉 雄次

前年度、平成27年10月より平成28年3月までのおよそ半年間で、探究型課外活動『旭東アカデメイア』を実施いたしました。まずはこの場をお借りしまして、参加生徒の保護者の皆様を始めとして、関係各位の皆様には心よりお礼申し上げます。

『アカデメイア』の名称は紀元前にプラトンが開設した学園の名前をそのままに借り受け、「価値創造」をテーマに生徒たちの持つ力を大いに発揮してもらえる場を作りたくて、この取り組みを始めました。本校においては初の取り組みであり、見切り発車の部分も残しての募集でしたが、1、2年生で27名の応募があり、最終的に25名の生徒に修了証書を渡すことができました。

下準備としました。後半は生徒たちが各自でテーマを設け、学問的価値、社会的価値、経済的価値のいずれかの価値提案を行うプレゼンテーションを行って、締めくくりとしました。参加生徒たちは皆熱心に議論を重ね、思考を巡らし、そして目を見張るような独創的な提案を行って、東高生の力をまざまざと見せつけてくれました。ここに生徒が自ら取り組んだテーマの一部をご紹介します…「東高の学校生活または学校での人間関係における、生徒の劣等感によるストレス」「スマホに依存しないために」「生活保護問題」「本当に田舎と都会で学力差はあるのか」

生徒は探究活動の中で、関係機関に調査依頼をしたり現地に赴いて取材をしたりと、実に主体的、能動的に活動してくれました。加えて、プレゼンテーションの場に一般の生徒も多く見学に足を運んでくれて、参加生徒のみならず、本校生徒全体の意識の高さにも感銘を受けました。

日頃、勉強そのものが目的であるかのような錯覚を起こしてしまいがちなのが、学校という場です。学んで身につけた学力で、社会に対して一体何ができるのか。そういったことを主体的に考える場としての『旭東アカデメイア』を今後も続けていきたいと考えております。

【全国大会抱負】

◎陸上部

全国高等学校陸上競技対校選手権大会
岡山県岡山市 7月29日～8月2日
林 京汰（2-16）
奥出 梨乃（3-17）

私はこれが人生で初めての全国大会になるのですが、そこで萎縮せず、強気になって積極的な走りをしたいと思います。そして日頃から周りにいてくれる方々への感謝を忘れずに、精一杯走ってきます。（林）

私は7月29日から8月2日に岡山県で行われる全国大会に400mハードルで出場します。全道大会では不甲斐ない走りをしてしまい、悔いが残るレースだったので、顧問の先生や仲間、家族への感謝の気持ちを忘れず、自分の走りをして予選・準決勝・決勝と一本でも多く走りたいです。（奥出）

◎山岳部

全国高等学校総合体育大会登山大会
岡山県 8月6～10日

本間 航太（3-16） 吉田 樹生（3-11）
後藤 開（2-16） 阪井 薫（2-15）

今回、岡山県で行われる全国大会に出場できる機会を掴むことができ、とても嬉しく思っています。私達は旭川東高校、そして北海道代表としての誇り、さらに何より支えてくださった多くの方々への感謝を胸に、最高の舞台へ臨みたいと思います。（本間）

女子

関谷 風結（3-13） 吉田ひかり（3-12）
生駒 香帆（3-13） 村中 愛（3-14）

長万部岳、狩場山を舞台に開催された全道大会で私たちは優勝し、全国大会に出場できることになりました。

岡山県で開催される全国大会は、目標としていた夢の舞台です。北海道の山とは色々な面で異なり、暑さにも苦しむと思いますが、ベストを尽くせるように頑張りたいと思います。そして今まで支えてくださった先生方、部員みんな、家族など多くの方々に感謝し、岡山県の山を楽しみたいです。（関谷）

◎放送局

NHK杯全国放送コンテスト

東京都 7月25～28日
辻 敬志朗（3-13）

まずは、今までご指導くださった堀江先生ならびに先生方、歴々の先輩方に心より感謝します。全国大会では、私が三年間で学んできた「人に伝えること」、「聴く人に作品の世界を想像させること」を心がけて、旭川東高校の名に恥じないような、自分ができる最高の完成度の朗読をNHKホールで披露していきます。

◎囲碁部

全国高等学校総合文化祭囲碁部門
広島県尾道市 8月2～3日
中條 開人（2-15）

この度、全道囲碁選手権大会において、第四位という成績を収めることができ8月2日から広島で行われる全国大会に、北海道チームの団体の主将として出場することが決まりました。大会では二日間六試合行いますが、暑さに負けず目の前の一局一局に集中し、全ての力を出し切りたいと思います。

◎文芸部

全国俳句甲子園
愛媛県松山市 8月19～20日
柳元 佑太（3-12） 藤田 そら（3-13）
本庄 海（2-11） 堤 葉月（2-13）
萩原 海（2-11） 城田 有梨（1-15）

文芸部は8月19日から20日にかけて愛媛県松山市で行われる、第十九回松山俳句甲子園に出場します。試合は五人一チームで行われ、俳句の出来と質疑応答の確さにより勝敗が決します。今年は地方予選で敗退しましたが、投句審査により本戦出場を決めました。俳句を愛する気持ちを忘れず、挑戦していきたいと思えます。（柳元）

◎化学部

全国高等学校総合文化祭自然科学部門
広島県東広島市 7月30日～8月1日
浅野 弘靖（3-15） 森 裕汰（3-16）
坂口 梨菜（3-14） 木澤 真由（3-11）

このたびは全国大会に出場できることを、とてもうれしく思います。多くの人からのアドバイスのお陰でとても良い研究になったと心の底から感じています。この研究に関心を持っているだけなら、しっかりとプレゼンすること、高生が集まるこの大会を楽しみたいと思います。（浅野）

平成28年度入試結果とこれからの進路の考え方



進路指導部長

松井 恵一

平成28年度入試における現役生の入試結果につきましては、国公立大学131名（前期77名、中後期42名、AO9名、推薦2名、独立1名）、私立大学185名という結果となりました。合格者数は、昨年度（国公立127名、私立181名）と比較し、ほぼ同様の結果となりました。受験動向を分析すると、国公立大学における中後期の出願者数が増加し、合格者数が40名を超えたことから、最後の最後まであきらめずに挑戦する姿勢が目立ったと言えます。また、私立大学の実受験者数が全体の46%にすぎず、国公立大学中心の入試であったことは昨年度とは異なる特徴でした。また、京都大学の特色入試で合格者を輩出できたことは、入試の変化が指摘されている時代にあつて今後の指導の上で非常に重要であると考えます。

平成28年度入試は、昨年度の理数新課程先行実施に続き、新課程が5教科で全面实施となった入試でした。新課程全面实施を受け、センター試験や各大学の個別試験でも量的・質的な入試問題の変化が指摘されています。具体的な内容としては、基礎事項の定着重視型から、読解力や記述力重視型へと

変化し、単に知識や技能を身に付けるだけではなく、それをどのように活用するかを求める傾向が強まりました。従来からこのような傾向はありましたが、今春の入試では、特にその傾向が強まったと指摘されています。また、東京大学と京都大学が、推薦入試、特色入試が導入されると新しい入試を導入した年でもありました。次年度以降も難関大学を中心にこのような形態の入試が順次導入されると予定されています。さらに、これに伴い、難関大学で後期入試を廃止する傾向が強まるなど、入試方法の変更が顕著に現れています。

このような傾向から、単に大学合格をゴールとするのではなく、高校生までのいわゆる「これまで」の学びと大学以降の「これから」の学びの連続性をより一層重視しなければならないことがわかります。大学卒業後を見据えて「社会で、何をどのように、貢献するか？」という強い意志の重要性が増していることを示しています。

今春の入試で新課程が全面实施となり、「これから」を見据えるとともに大きな変化も待ち受けています。しかし、変化が大きいとは言え、大学入試は本来、大学・学部・学科で学ぶために必要な力が身につけているかどうかを測るものであり、大学が求める人材に合致しているかどうかの判断材料であることを考えると、大学入試本来

のあるべき姿に近づいたとも言えるのだと思います。入試の量的・質的变化が指摘されてはいても、従来から優れた作問を行ってきた大学も数多く存在します。新しい入試が導入されるのはいつても、既にそのような入試を導入し、有為な人材を多数輩出してきた大学も存在します。

大切なことは、大学合格をゴールとするのではなく、受験のその先を見据えることにあるのだと思います。合格のみをゴールとするため、大学入試を突破することだけが学ぶためのモチベーションとして機能し、知識や技能偏重と指摘されます。合格のみをゴールとするため大学入学後に目標を見失い、再受験の多発等が起り選抜ではなく接続が重要と指摘されます。その結果、「これまで」の学びと「これから」の学びの連続性を明確に測る必要性が出てきます。

そもそも大学は研究機関として存在し、大学での研究が今はまだ解決できていない問題の解決方法を探り、新しい未来を創造する機関であるからこそ、多額の科学技術研究費が投ぜられています。その場で学ぶ責任感を持つことが重要であり、その重要性に気が付けば必然的に受験のその先を考えることにつながります。

そのような責任感を持つことは簡単ではありません。社会を知る力が必要であるからです。高校生という時期は、

感性が豊かで、多様な価値観を受け止めることのできる時期です。この時期に社会認識力を高め、学びの本来の意味に気づくことが、多くの豊かな才能を持つて入学してくる東高生能力を引き出すことにつながります。社会に目を向けることがこれからの高校生にとって重要な「これから」の進路を考えることに必要です。そのような機会を私たちがも提供していきたいと思いますが、保護者の方々や地域の皆様にもご協力を頂かなければならない場面もあります。今後とも本校の進路指導にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



自習室の様子

部活動報告 (主に高体連)



男子リレー

【地区大会】 (☆印は全道大会出場)

◆陸上部	加門真奈穂(3-1)	400m	☆3位
"	"	200m	☆4位
"	"	100m	☆5位
杉本 有矢(3-4)	走高跳	☆1位	
石川 湧太(3-5)	1500m	☆3位	
黒須 直樹(3-5)	3000m	☆4位	
小坂 太一(3-6)	400m	☆6位	
"	400m	☆6位	
田村 耕太(3-7)	1500m	☆4位	
"	5000m	☆3位	
奥出 梨乃(3-7)	400m	☆7位	
"	400m	☆1位	
坂本 海優(2-2)	1000m	☆5位	
"	400m	☆6位	
樋口 明音(2-2)	1500m	☆4位	
八島 昇平(2-4)	5000m	☆4位	
林 京汰(2-6)	4000m	☆2位	
目黒 鈴奈(2-7)	砲丸投	☆4位	
"	砲丸投	☆2位	
中島 菜那(1-6)	走幅跳	☆4位	
"	走高跳	☆5位	
西塚 大悟(1-7)	砲丸投	☆1位	
"	砲丸投	☆3位	
男子4000m		☆5位	
男子1600m		☆3位	
女子4000m		☆2位	
女子1600m		☆3位	

◆バスケットボール部

男子	旭東40-旭高大100	1回戦
女子	旭東103-留萌千望10	1回戦
	旭東39-商業67	2回戦

◆バレーボール部

男子	決勝トーナメント	
	旭東2-0富良野	
女子	決勝リーグ 0勝3敗	4位
	旭東0-2龍谷	1回戦

◆サッカー部

旭東0-3永嶺	2回戦
---------	-----

◆卓球部

男子	団体決勝トーナメント	2回戦
	板井(3-2)加藤(2-1)組	☆3位
女子	団体	☆準優勝
	斎藤(3-7)三浦(3-5)組	☆3位
S 齋藤 心(3-7)	☆優勝	
" 三浦野乃花(3-5)	☆ベスト8	

◆ソフトテニス部

男子	団体	☆準優勝
	D 寒水(3-2)松本(3-5)組	☆5位
" 霜野(3-6)岡村(3-5)組	☆ベスト16	
女子	団体	☆優勝
	D 岡田(2-2)渡邊(1-5)組	☆準優勝

◆テニス部

男子	団体	☆準優勝
	D 瀬崎(3-2)澤渡(3-4)組	☆準優勝
	D 岸浪(5-5)川島(2-4)組	☆5位
S 岸浪 建(3-5)	☆3位	
" 澤渡 巧喜(3-4)	☆5位	
女子	団体	☆準優勝

◆バドミントン部

男子	団体	☆3位
	D 林(3-6)高見(3-4)組	☆4位
S 林 玖憲(3-6)	☆4位	
女子	団体	☆3位

◆山岳部

男子	☆最優秀	
女子	☆最優秀	

◆ラグビー部(カムイスーパーカップ)

龍谷・旭東合同チーム	4敗	
------------	----	--

◆野球部

春季大会	旭東2-8龍谷	準決勝
夏季大会	旭東10-0留萌	☆優勝



北大大会ブロック優勝

◆放送局

創作ラジオドラマ部門	☆3位
創作テレビドラマ部門	☆2位
テレビドキュメント部門	☆4位
朗読部門	
葛西 里菜(3-5)	☆4位
西沢美那花(3-3)	☆5位
辻 敬志朗(3-3)	☆8位

◆音楽部

合唱コンクール部門	☆最優秀賞
-----------	-------

【全道大会】 (★印は全国大会出場)

◆陸上部	林 京汰(2-6)	400m	★3位
	奥出 梨乃(3-7)	400m	★6位
◆卓球部	男子		
	D 板井(3-2)加藤(2-1)組	3回戦	
	女子	団体	2回戦
	D 斎藤(3-7)三浦(3-5)組	3回戦	
S 斎藤 心(3-7)	2回戦		
" 三浦野乃花(3-5)	1回戦		
◆ソフトテニス部	男子		
	D 寒水(3-2)松本(3-5)組	3回戦	
" 霜野(3-6)岡村(3-5)組	1回戦		
女子	団体	ベスト8	
	D 岡田(2-2)渡邊(1-5)組	2回戦	

◆テニス部

男子	団体	2回戦
	D 岸浪(5-5)川島(2-4)組	2回戦
" 瀬崎(3-2)澤渡(3-4)組	1回戦	
S 岸浪 建(3-5)	1回戦	
" 澤渡 巧喜(3-4)	1回戦	
女子	団体	1回戦

◆バドミントン部

男子	団体	1回戦
	D 林(3-6)高見(3-4)組	2回戦
S 林 玖憲(3-6)	2回戦	
女子	団体	2回戦

◆山岳部

男子	☆最優秀	
女子	☆最優秀	

◆ハンドボール部

旭東11-40函大有斗		
-------------	--	--

◆ラグビー部

(合同チームラグビーフットボール大会)		
旭川・北見合同優勝		

◆放送局

朗読部門	辻 敬志朗(3-3)	★決勝8位
創作テレビドラマ部門		10位
創作ラジオドラマ部門		14位
◆文芸部(俳句甲子園)		
Aチーム		2位
Bチーム		3位
投句審査による選抜	Aチーム	★全国出場

◆将棋部

団体戦		3位
個人戦	市原 広夢(1-5)	予選13位

◆囲碁部

男子	団体戦	準優勝
男子	個人戦	★4位
中條 開人(2-5)		

◆英語部

(英語プレゼンテーションコンテスト)		
2学年チーム		5位

◆個人出場

◆水泳	宮下 郁也(3-3)	100m背泳	7位
	杉本 友翔(3-6)	100m背泳	8位
	"	200m背泳	7位
◆少林寺拳法	男子	単独演武	3位
	佐藤 佑亮(2-6)		

学祭結果

	総合
仮装 第1位	3年2組
仮装 第2位	3年5組
仮装 第3位	3年4組
クラス展示 第1位	3年7組
クラス展示 第2位	3年6組
クラス展示 第3位	2年5組
総合 第1位	3年2組
総合 第2位	3年7組
総合 第3位	3年5・6組



クラス展示「アマゾン」
(3年6組)



たくさんのメッセージ



前夜祭スタッフもお疲れさま

第67回 学校祭 「熱い夏」



3年6組
杉山 七星

前期中間考查が終了し、生徒会室の扉を開けた瞬間が本格的な夏の始まりでした。こんなにも仲間と知恵を出し合い、ぶつかり合い、笑い合い、雨の天気予報を呪う夏は一生のうちにあるでしょうか。たまたなく楽しくて、ふとした時に終わりに向かって走っている現実が頭をよぎると胸が苦しくなり、目が冴え睡眠薬に頼る夜もありました。しかし、学祭は決して常に楽しく、輝いているものだとはいえません。朝早くから夜遅くまでの作業、迫り来る残金、終わらない点検、自分の思いを伝える難しさ、誰しもが学祭の闇を見たことと思います。私がそんな闇に溺れそうになった時、手を差し伸べてくれる仲間がいました。大好きな仲間が側で支えてくれました。『シマレ、ガンバレ』この精神が一年のうちで最も多くの人に共有される時。強くそう感じました。この仲間とともに成長し、熱い夏を迎えた思い出は、私の心に一生残り続けるでしょう。何十年かたつた後、東高生みんなの心にも、今年の東高祭の記憶が一欠片でも残っているのなら嬉しいですね。今回の学祭に足を運んでくださった方々、朝早くから夜遅くまで学校に残り様々な相談に乗ってくださいました先生方、私達の体調を気遣い支えてくれた家族、そしてなんといいっても、共に第六十七回東高祭を創り上げた東高生みんな、東高祭に関わった全ての方々に心から感謝しています。本当にありがとうございました！最後に後輩のみんな、来年の学祭へのご協力ありがとうございました。シマレ、ガンバレ!!

合唱コン成績

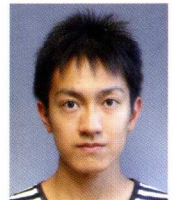
賞	クラス	氏名
総合最優秀賞	3年6組	
3年	最優秀賞	3年6組
指揮者賞	3年6組	井手 祐希
伴奏者賞	3年5組	山兎 弘文
2年	最優秀賞	2年2組
指揮者賞	2年5組	中條 開人
伴奏者賞	2年2組	松橋 凌大
1年	最優秀賞	1年3組
指揮者賞	1年7組	山越 陽介
伴奏者賞	1年6組	長原 朋香

し切れた最高のステージだったと思います。三年生です。ので一つ一つの行事が最後の思い出となります。いきま。3年6組のみんな最高の思い出をありがとう。



すばらしい歌声が体育館に響きました

この東高に来て合唱コンには驚かされているものがたくさんありました。市民文化会館、衣装、クオリティ、学年が上がるごとに増す団結力。どれも中学生の時とは比べ物にならないほどでした。今年はその一つ、市民文化会館が使えなく、体育館での開催となりました。最後の合唱コンが体育館か？と最初は思っていましたがいざ始まってみるとそんなことも忘れるような楽しい本番でした。色々な事情により代理の指揮者ということで指揮を振らせてもらいました。音楽部の生徒指揮という立場もあり指揮者賞を取らなくてはならないという気持ち強く、肩に力が入り。大変緊張しました。僕は1、2年生の練習に指導のため行くこともあり不在の時が多く、自分のクラスの練習はほとんど男子のパートリーダーの蘆田君が頑張ってくれました。蘆田君は同じ音楽部の仲間であり心強い味方でした。真の指揮者賞は蘆田君だと今でも思っています。また、僕のクラスは練習当初からまとまりがよく、熱心で団結力がとても強いクラスでしたので、日に日に気持ちは高まり、「最優秀賞をとる」と皆の思いは一つになっていったように思います。そして本番、他のクラスの指揮者がとても上手く、今までは一番上手く指揮を振ろうという思いで一杯でしたが、見てくれている、聴いてくれている人達の心に残る指揮をしようという気持ちを変えました。高校生活最後の合唱コン、皆で頑張ってきた合唱コン。クラス全員の力を出し切り、練習の成果を思いきり発揮できた素晴らしい声が体育館に響き渡ったのではないのでしょうか。僕自身も無い力まで出し切れた最高のステージだったと思います。三年生です。ので一つ一つの行事が最後の思い出となります。いきま。3年6組のみんな最高の思い出をありがとう。



3年6組
井手 祐希

合唱コンクール 「宝物」